







PAINTING (塗装)

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご確認ください。
※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

ウイングガンダム EW 指定色

- | | |
|--|--|
|  本体などの塗装色
ホワイト(95%)
+ニュートラルグレー(5%) |  アンテナなどの塗装色
ホワイト(60%)
+オレンジイエロー(35%)
+蛍光オレンジ(5%) |
|  胸部などの塗装色
コバルトブルー(75%)
+インディブルー(10%)
+ホワイト(10%)
+蛍光ピンク(5%) |  目などの塗装色
クリア(40%)
+クリアブルー(40%)
+クリアグリーン(20%) |
|  武器などの塗装色
ニュートラルグレー(55%) + ホワイト(35%)
+シャインレッド(5%) + インディブルー(5%) | |
|  腹部、つま先などの塗装色
モンザレッド(60%)
+シャインレッド(40%) | |

●ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。
※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

ワンポイントステップ ~One point step~

顔を中心にスミ入れ してみよう!

ガンダムマーカ-/スミ入れ用(別売り)などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。
スミ入れするだけで見違えるような仕上がりになります。








[before]



[after]

ヒロ・ユイ

- | | |
|---|--|
|  顔などはた色部
はた色(100%) |  髪などの塗装色
マホガニー(100%) |
|  シャツの塗装色
RLMグレー02(70%) + グリーン(30%) |  パンツの塗装色
ミッドナイトブルー(90%) + ホワイト(10%) |
|  靴の塗装色
ミドルストーン(90%) + ホワイト(10%) | |



WING GUNDAM XXXG-01W

NEW MOBILE REPORT GUNDAM W ENDLESS WALTZ
XXXG-01W WING GUNDAM 1/100 SCALE MASTER GRADE MODEL



GUNDAM-W
Endless Waltz
敗者たちの栄光



XXXG-01W
「ウイングガンダム EW」
1/100スケール
マスターグレードモデル



WING GUNDAM XXXG-01W
NEW MOBILE REPORT GUNDAM W ENDLESS WALTZ
XXXG-01W WING GUNDAM 1/100 SCALE MASTER GRADE MODEL

NEW MOBILE REPORT GUNDAM W

MS Design

「TV版」ウイングガンダムと「エンドレスワルツ版」ウイングガンダム

ウイングガンダムEWの“EW”とは、OVA『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』に由来する。ただし、この機体が登場する映像作品は存在せず、設定画のみが存在していた。一体、この機体は何なのか？ その誕生の理由は、作品の世界観に大きく関わっていた。

TVシリーズ『新機動戦記ガンダムW』の人気は凄まじく、放映終了後もその熱狂は醒めやらず、ファンの要請に応える形で『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』が製作されることとなった。エピソードとしてはTVシリーズの後日譚なのだが、単なる続編にとどまらないサプライズが用意されていた。両者の世界は（イコール）ではなく≠（ニアイコール）だったのだ。言わばパラレルワールドとも呼べる世界観の違いは、ストーリーのみならず、特にMS（モビルスーツ）デザインにおいて顕著であった。カトキハジメ氏によるOVA版のデザインは、大河原邦男氏によるTV版デザインを踏襲しつつ、より深く世界観に寄り添う形で手がけられた。劇中では、いわゆる



▲カトキハジメ氏が描き起こし、劇場版『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』のパンフレットに掲載されたイラスト

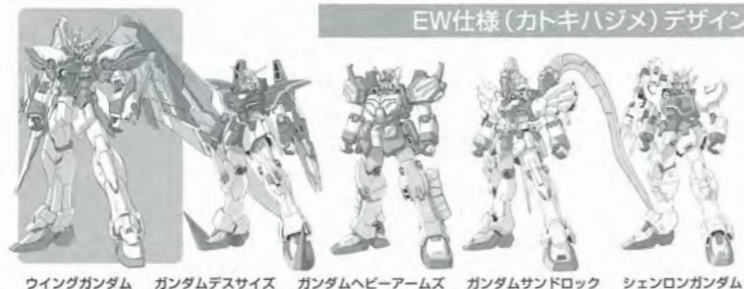
TVシリーズデザイン

“パワーアップ版”である後継機のみが登場するのだが、OVA版の世界観を俯瞰した場合、その初期型が存在して然るべきとしてカトキ氏が描いた機体がEW版、俗に“アーリータイプ”と呼ばれる機体群なのである。

ウイングガンダムEWは、この“アーリーモデル”であり、デスサイズ、ヘビーアームズ、サンドロック、シェンロンのEW版も当然存在する。無論、OVA版のタイムラインはTV本編の終了後であり、それぞれの機体はTVシリーズ中盤で後継機に置き換わっているため、初期型が本編に登場することは無い。しかし1998年、『ガンダム』生誕20周年記念の一環として、3本のOVAを再編集した上で新作カットを追加した『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz 特別編』が劇場公開される運びとなった。その劇場用パンフレットにおいてカトキ氏がEW版の初期型を発表し、ウイングガンダムEWもそのうちの一機として描かれていたのである。

TV版ではマッシュだったウイングガンダムは、EW版において全体的にスマートかつシャープになっている。また、主翼の形状と腰部および脚部の変形ギミックが大きく変わったため、バードモードのシルエットもソリッドなものとなったほか、オプションカートリッジの追加なども施されている。

EW仕様（カトキハジメ）デザイン



ウイングガンダム ガンダムデスサイズ ガンダムヘビーアームズ ガンダムサンドロック シェンロンガンダム

Gundam W Story Playback



本来の“オペレーション・メテオ”は、数基のコロニーを地球に落下させ、その混乱に乗じ5機のガンダムで地球を制圧するという、20億人もの犠牲者を伴う非情なものであった。「命なんて安いもんだ……特にオレのはな」ウイングガンダムのコクピットに収まったヒロ・ユイは、ドクターJの指令を頭に叩き込んでいた。「あとは速やかに作戦行動に入れ」「了解……」「ではコードネームを決めておこう。『ヒロ・ユイ』……宇宙の平和的指導者の名だ。」「了解した。」「コロニーを抑圧する“OZ”を殲滅すべく、ヒロは単独で“オペレーション・メテオ”を遂行するため地球に降下した。自分の命よりも任務遂行を優先するヒロだったが、リリーナや“仲間”たちとの出会い、別れ、過ちと贖罪を積み重ねながら、新たな時代を切り開いていく。



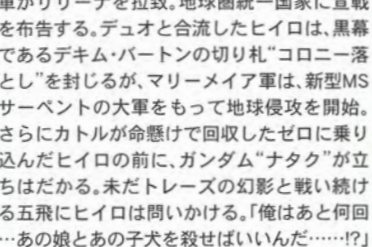
TV版



A.C.0196年。かつての戦いから一年後。「戦争を完全に捨て去った世界にガンダムは不要」との呼びかけに応じ、ヒイロはウイングゼロをカトルに託した。五飛の“ナタク”を除く4機のガンダムは、使用済み資源衛星に乗せて太陽に廃棄されることとなった。その矢先、マリメイア軍がリリーナを拉致。地球圏統一国家に宣戦を布告する。デュオと合流したヒイロは、黒幕であるデキム・パルトンの切り札“コロニー落とし”を封じるが、マリメイア軍は、新型MSサーベントの大軍をもって地球侵攻を開始。さらにカトルが命懸けで回収したゼロに乗り込んだヒイロの前に、ガンダム“ナタク”が立ちはだかる。未だトレースの幻影と戦い続ける五飛にヒイロは問いかける。「俺はあと何回……あの娘とあの子犬を殺せばいいんだ……!？」



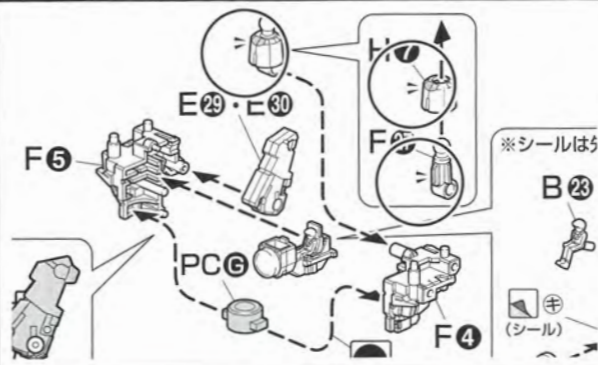
EW版



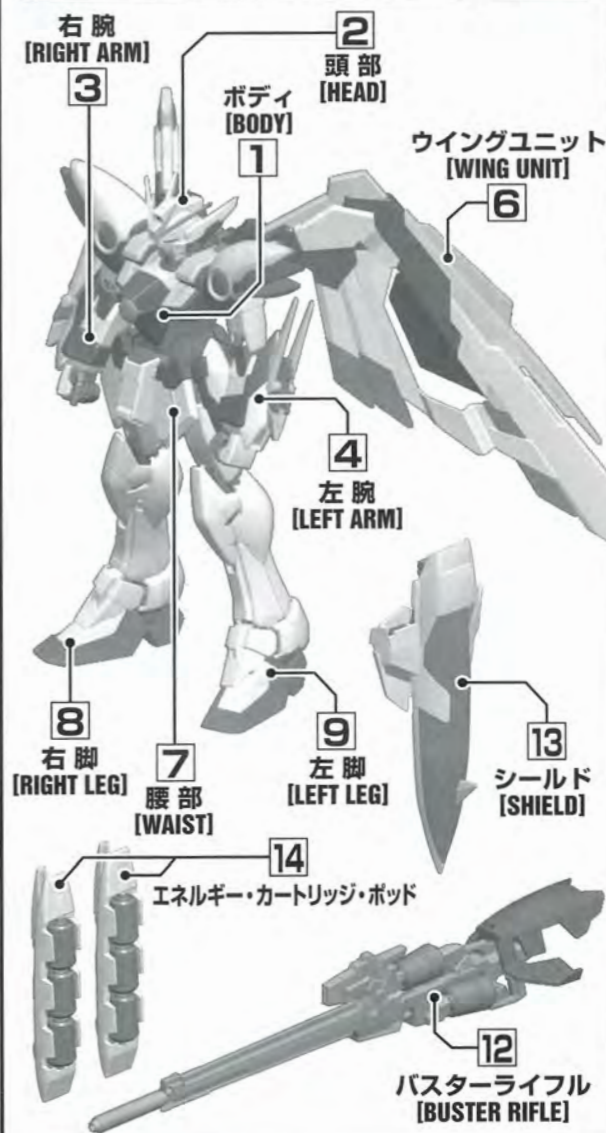
組み立て前の基本説明

部品の向きに注意してください

※組み立て図中に1/1のついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。

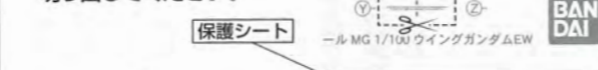


説明書をよく読んで完成させましょう

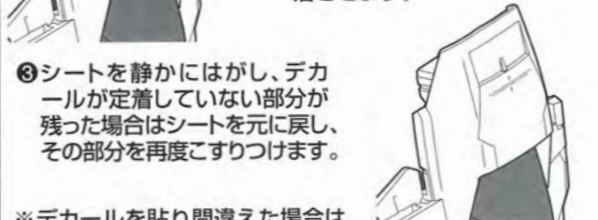


ガンダムデカールの貼りかた

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。



②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。



※シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

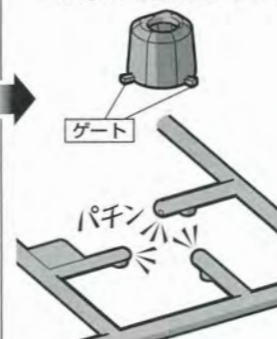
※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

パーツの切り取りかた

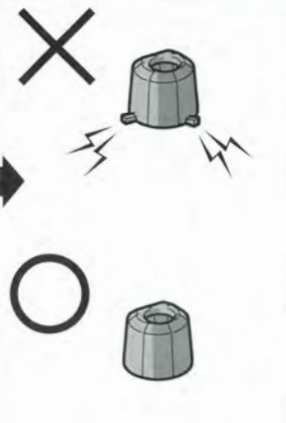
①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



②パーツを切り離して持ち上げた位置にニッパーの刃を入れて、やすくなったところでゲート跡の処理に入ります。



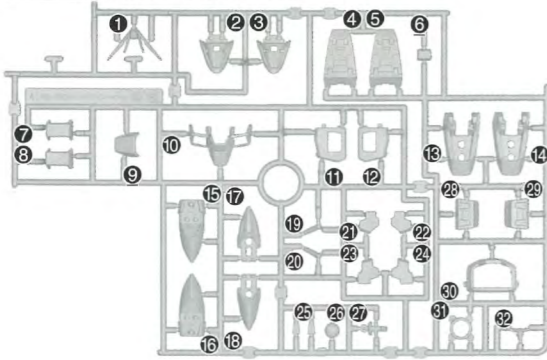
③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



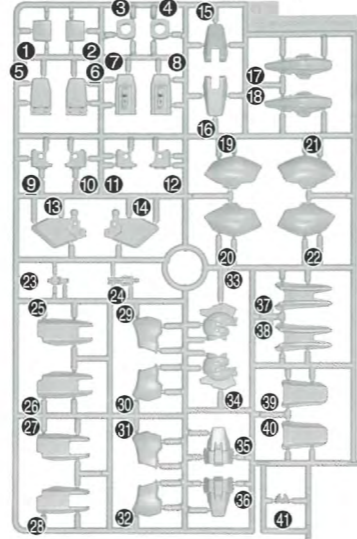
HOW TO PART LIST BODY HEAD ARMS UPPER BODY WING UNIT WAIST LEGS BOTTOM FINAL ASSEMBLY TRANSFORMATION SEAL WEAPONS

パーツリスト (×印は使用しないパーツです。)

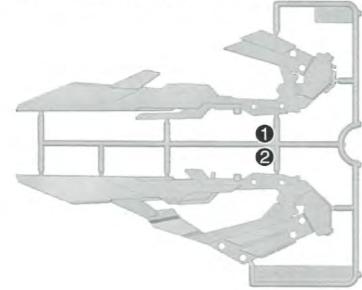
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



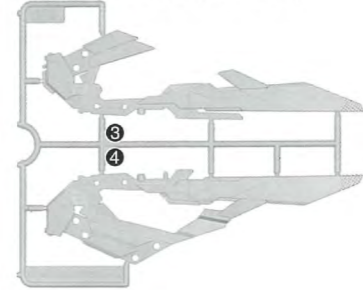
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



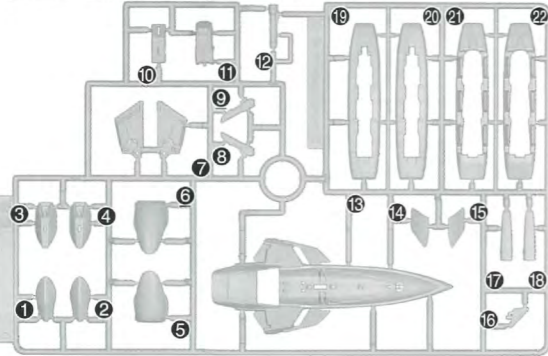
C1パーツ (スチロール樹脂: PS)



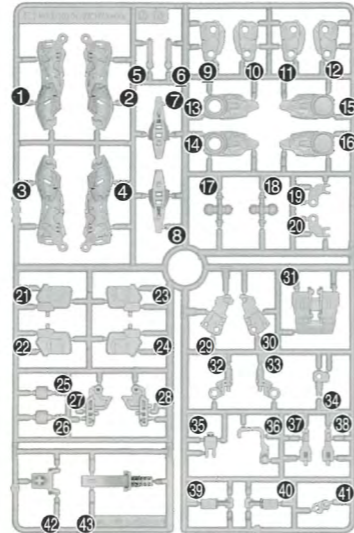
C2パーツ (スチロール樹脂: PS)



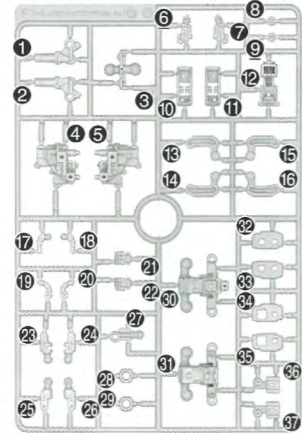
Dパーツ (スチロール樹脂: PS)



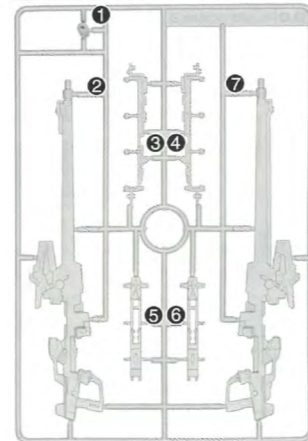
Eパーツ (ABS樹脂: ABS)



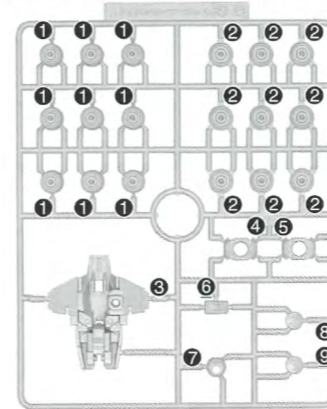
Fパーツ (ABS樹脂: ABS)



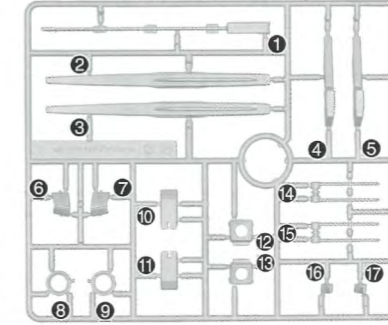
Gパーツ (スチロール樹脂: PS)



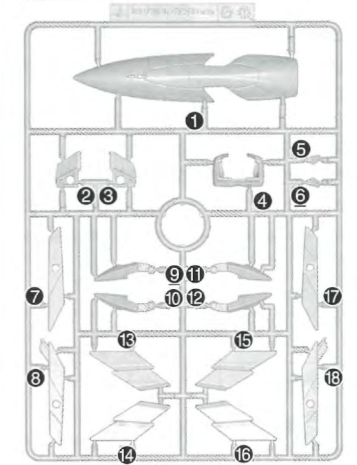
Hパーツ (スチロール樹脂: PS)



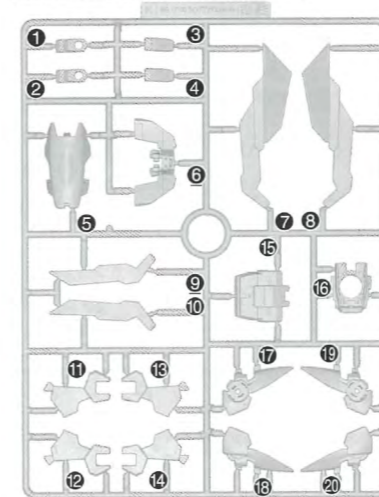
Iパーツ (スチロール樹脂: PS)



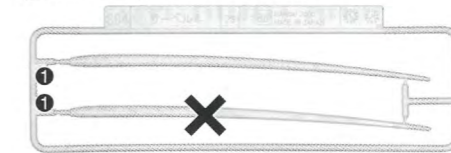
Jパーツ (スチロール樹脂: PS)



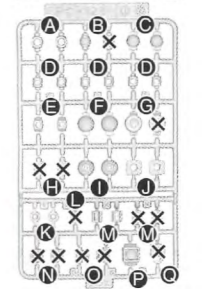
Kパーツ (スチロール樹脂: PS)



SB4パーツ (スチロール樹脂: PS)



PC-126プラス (ポリエチレン: PE)



カラーシール.....1枚
マーキングシール...1枚
ガンダムデカール...1枚

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が悪く飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

(組み立てる時の注意)

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- 尖った先端や薄い縁端部に触れながらの組み立てには十分ご注意ください。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

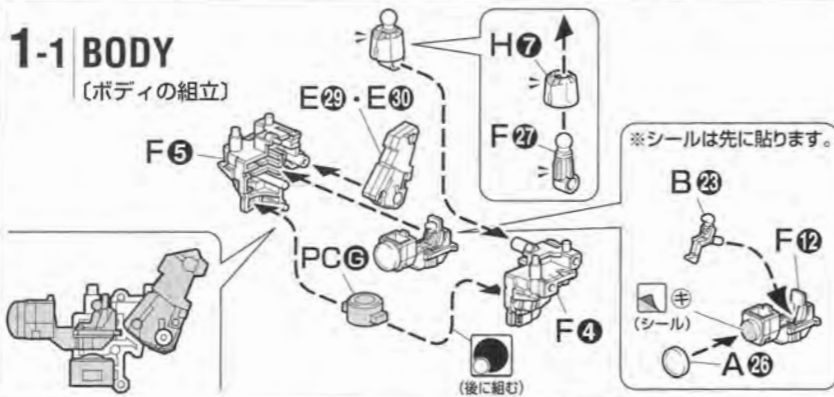
切り取る	シールの番号	シールの番号	反対側に取り付けるパーツ	両側に関しパーツを取り付ける	向きに注意して取り付ける	向きに注意して取り付ける
切り取る	部品を数値の個数作ります	先に組み立てます	後に組み立てます	向きに注意して取り付ける	どちらかを選んで取り付ける	反対側も同じように動かします

1 BODY

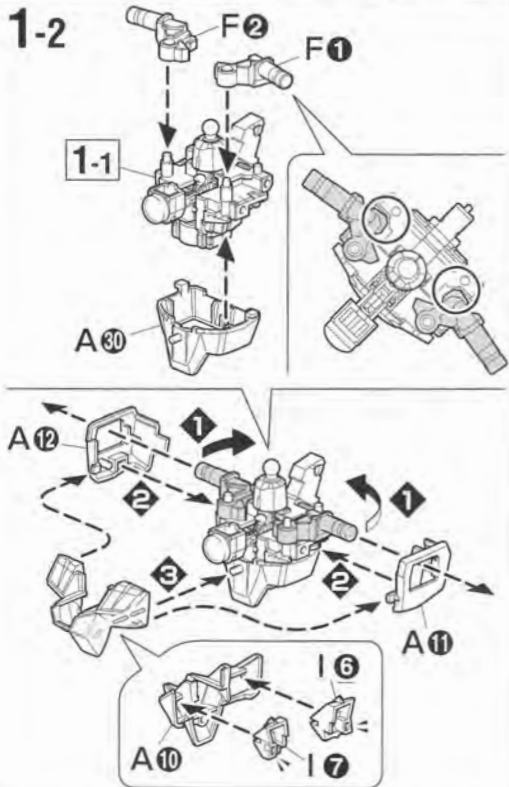


1-1 BODY

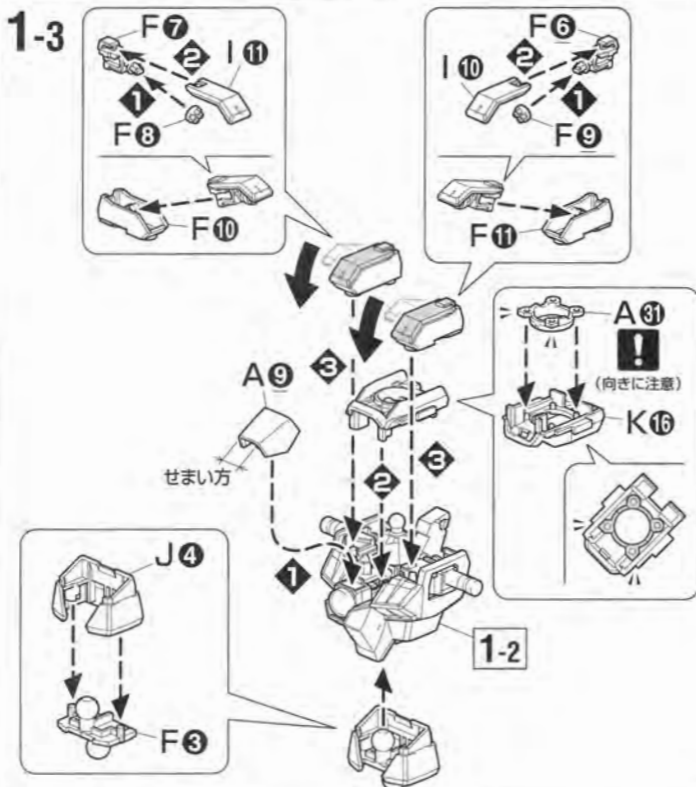
(ボディの組立)



1-2



1-3

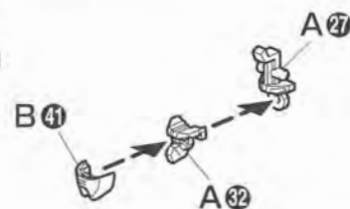


2 HEAD

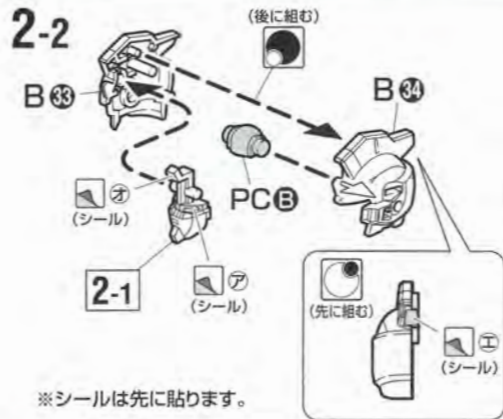


2-1 HEAD

(頭部の組立)



2-2



※シールは先に貼ります。

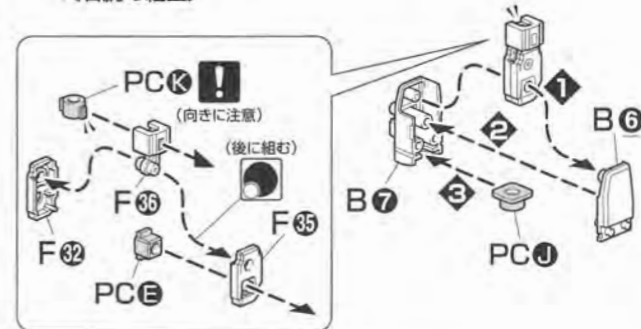
3 RIGHT ARM

4 LEFT ARM

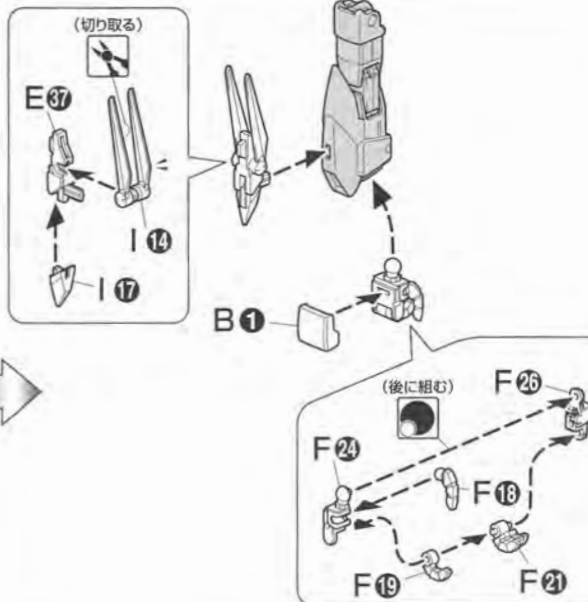
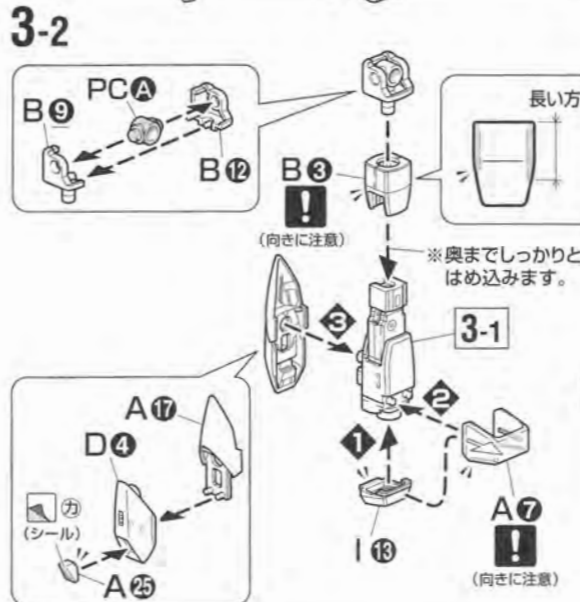


3-1 RIGHT ARM

(右腕の組立)



3-2



GUNDAM W ANOTHER ASPECT

Wing Gundam

アフターコロニー
A.C.195年。地球連合の軍事組織の影に身を潜め、独裁による地球圏の完全支配を目論む秘密結社"OZ"。その野望を阻止すべく、各スペースコロニーから隕石に擬装した5機のガンダムが出撃。地球降下作戦「オペレーション・メテオ」を決定した。ヒロ・ユイが乗るウイングガンダムは、軌道上でOZの攻撃輸送機に発見されてしまう。ヒロは突入カプセルの軌道を変え、その耐熱殻をバージすると、ハードモードのウイングガンダムがその姿をあらわにした。「敵の新兵器とは戦闘機のことだったのか!?」輸送艇に乗り合わせていたゼクス特佐は、その機体を駆るパイロットの技量を察知、攻撃を命じると、自らもリーオーを駆って出撃する。「余裕で逃げ切れる…」輸送艇の機銃を気にも留めていなかったヒロのもとに、任務変更を告げる指令が下った。「任務変更!? 追尾機はOZのMS輸送機か……スピードからすると3機ほど搭載している。」ヒロは機体を反転させ、OZのシャトルを正面に見据える。「任務変更了解。たたちに、OZ輸送機を撃墜する!!」ゼクスの攻撃で推進システムにダメージを負ったヒロは、モードシフトレバーに手を伸ばす!!!



※写真はイメージです。

Hero, Distracted by Defeat (ヒロ閃光に敗る)

OZの新型MSTーラスの移送計画を察知したヒロたちは、それが“ガンダム”をおびき出す罠と知りつつ出撃する。「速い!?」輸送隊を襲撃するヒロの前に、突如現れた白い機体“トールギス”。それを駆るゼクスはヒロに1対1の戦いを挑む。「我々にはビームライフルもキャノンも必要ないだろう…」ドーバーガンをバージするやビームサーベルを構えるトールギス。「この申し出を受けざるを得まい。ガンダムのパイロットとして!!」数秒の逡巡の後、ヒロはライフルを捨ててビームサーベルを抜き放つ。激しく斬り結ぶウイングとトールギス。「プロトタイプリーオー!? OZが完成させていたのか!!!」相手が難敵と認識したヒロは、それでもゼクスとの決闘を続ける。一方、罠のつもりが劣勢に追い込まれたOZのレディアンは、バルジ要塞のミサイルの照準をコロニーに合わせ、ガンダムたちに降伏を迫る。「無粋な真似をしてくれるっ!!!」男同士の戦いに水を差されたゼクスはレディアンの暴走を咎めるが彼女はにべもない。そこにドクターJからの通信が入る。「降伏はする。しかしガンダムは渡せん!!!」コクピットから出たヒロは自爆装置のトリガーを掲げる。そして……!!!

WING GUNDAM XXXG-01W

「新生ガンダムW」シリーズから
装いも新たな「ウイングガンダム EW」が登場!

GUNDAM-W
Endless Waltz
敗者たちの栄光



Illustration: Katoki Hajime

俗に“アーリータイプ”と呼ばれる5機のガンダムは、OVAシリーズを再構成した劇場版「Endless Waltz特別編」のパンフレットに掲載されたカトキハジメ氏による書き下ろしイラストである。映像作品には登場しないが、世界的には存在するはずの“パワーアップ前の機体”を想定して手がけたものだ。そして2010年の「月刊ガンダムエース(角川書店刊)」および「サンライズ」のタグによる「ガンダムW」再起動と、コミック「ガンダムW Endless Waltz 敗者たちの栄光」連載開始に伴い、コミックに登場するMSのデザインは「エンドレスワルツ版」が採用されることとなった。これを受けてMG化も同時に始動。
「MG ウイングガンダム EW」は、かつて「Ver.Ka」として発売された「ウイングガンダム」を新たな成形色と一部追加パーツによりリニューアル。2011年仕様となり、「新生ガンダムW」シリーズのMGに相応しい装いをまとう事となった。



MG WING GUNDAM MODEL DATA



脚部はスライドギミックによりスムーズな変形が可能。

翼部は設定をイメージし、立体的に表現。

背面接合部は、変形時に可動に表現。

胸部コクピットハッチは開閉が可能。

シナリオ
Endless Waltz
隔沢克之
挿絵
小笠原智史

新機動戦記
GUNDAM W
Frozen Teardrop

著
隔沢克之
挿絵
あさぎ桜

GUNDAM W FEATURE #2

Comic それぞれの任務に身を投じる彼らに待ち受けるものとは!?

『新機動戦記ガンダムW』の物語が装いも新たに生まれ変わった。この作品は“デュオ”の視点を中心として物語を再構成。それぞれのキャラクターも更に掘り下げ描かれている。単なるリニューアルにとどまらない珠玉のエピソードが満載の物語は現在、ヒロがガンダニウム合金を運ぶOZ輸送機の撃墜任務にあたる一方、OZの地中海コルシカ基地でヘビーアームズとリーオー、エアリーズの大軍が激戦を繰り広げる!!

Novel 火星で展開される新たな戦いとヒロの運命は!?

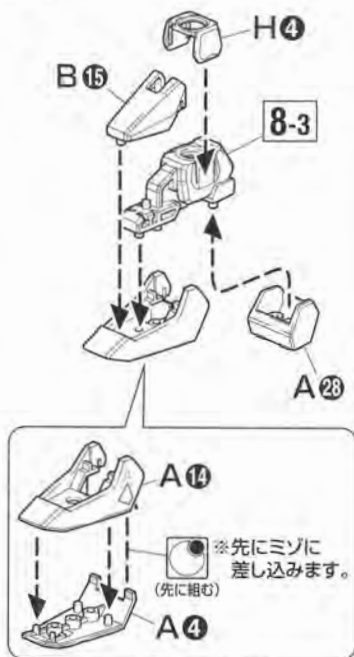
マリーメイア軍との戦いから数十年後、コールドスリープから目覚めたヒロに新たな“任務”が与えられた。「リリーナ・ピースクラフトを暗殺せよ」。時代はM.C.(マーズセンチュリー)。場所は火星。“戦神(マルス)”が続べる赤き大地で、刻を越えた壮大な物語が展開する。“オペレーション・メテオ”に至る過去の経緯、ヒロをはじめとするガンダムパイロットたちの“現在”。果たして新型MS『白雪姫(スノーホワイト)』を駆るヒロの運命は!!

小説「新機動戦記ガンダムW Frozen Teardrop」第1巻「狼群の輪舞」上 第2巻「狼群の輪舞」下 2011年2月発売

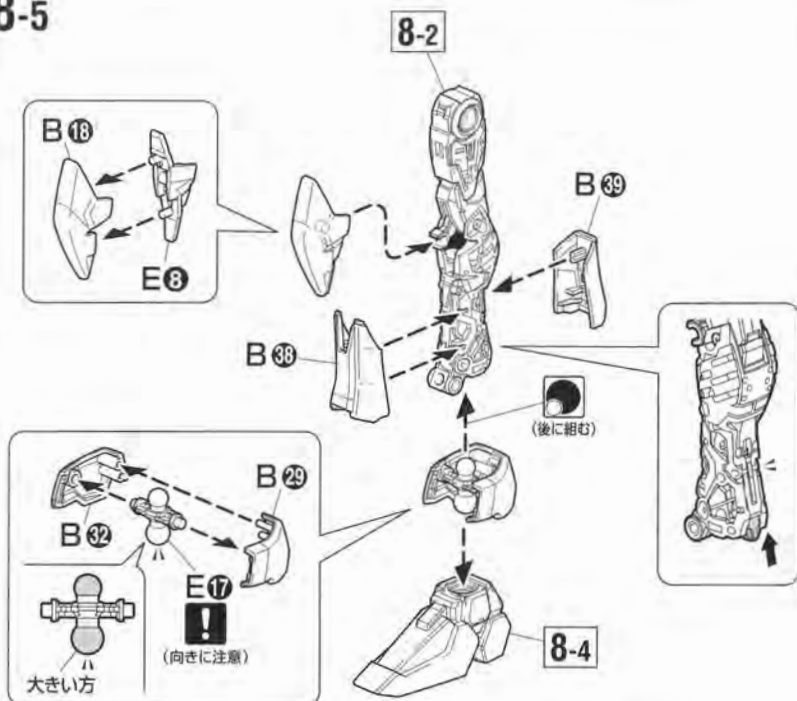


「MG シェンロンガンダム EW」は別売りです。TMG ガンダムデスサイズ EW は別売りです。写真はバンダイプラモデル アクションベース1(別売り)を3セット使用しています。

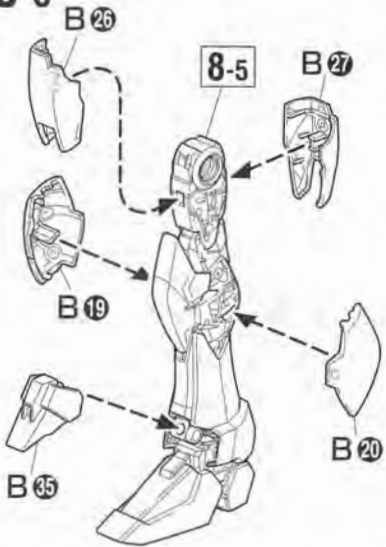
8-4



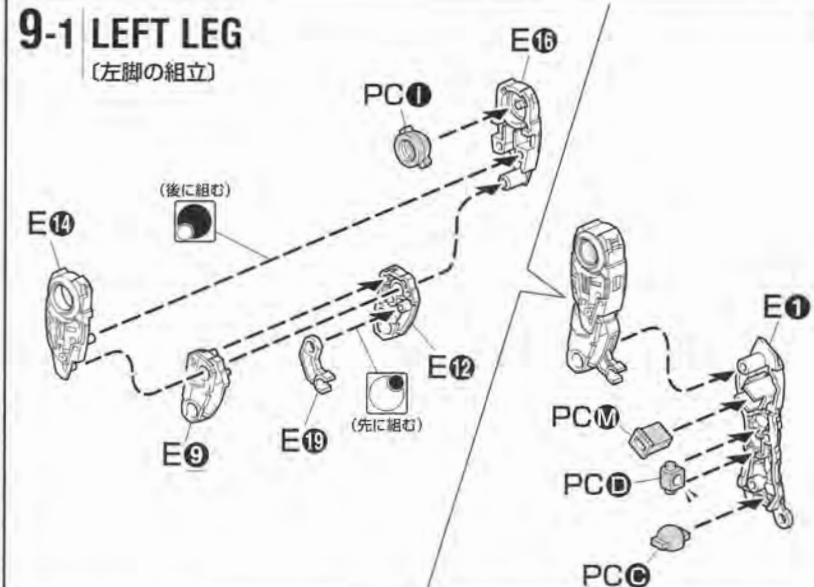
8-5



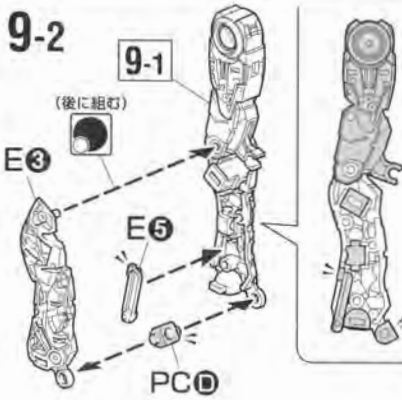
8-6



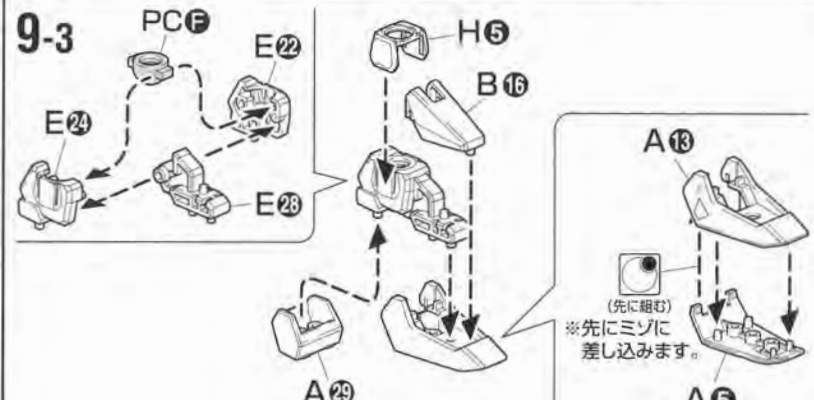
9-1 LEFT LEG (左脚の組立)



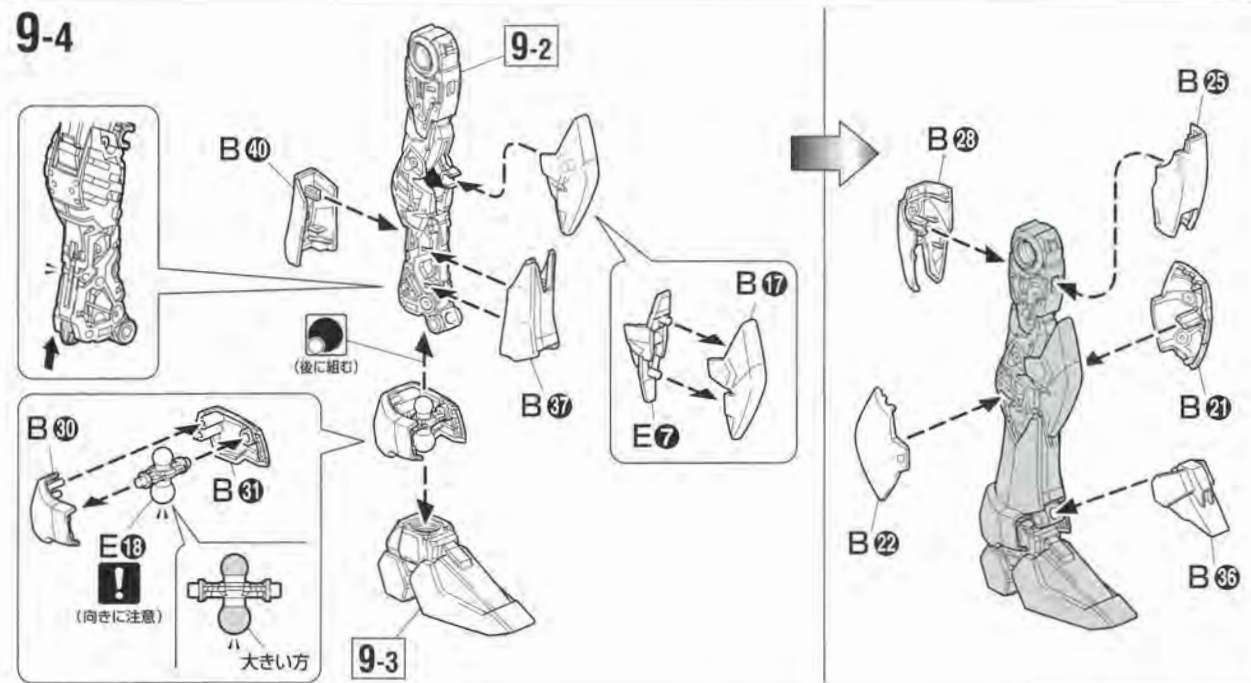
9-2



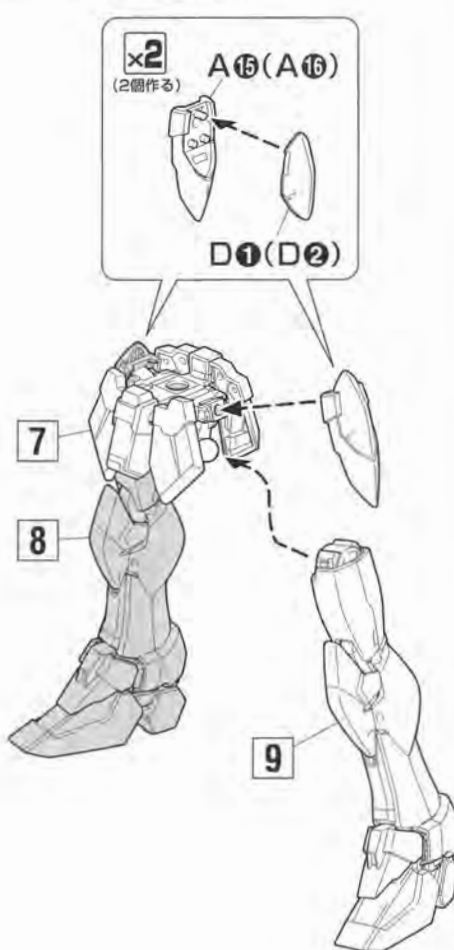
9-3



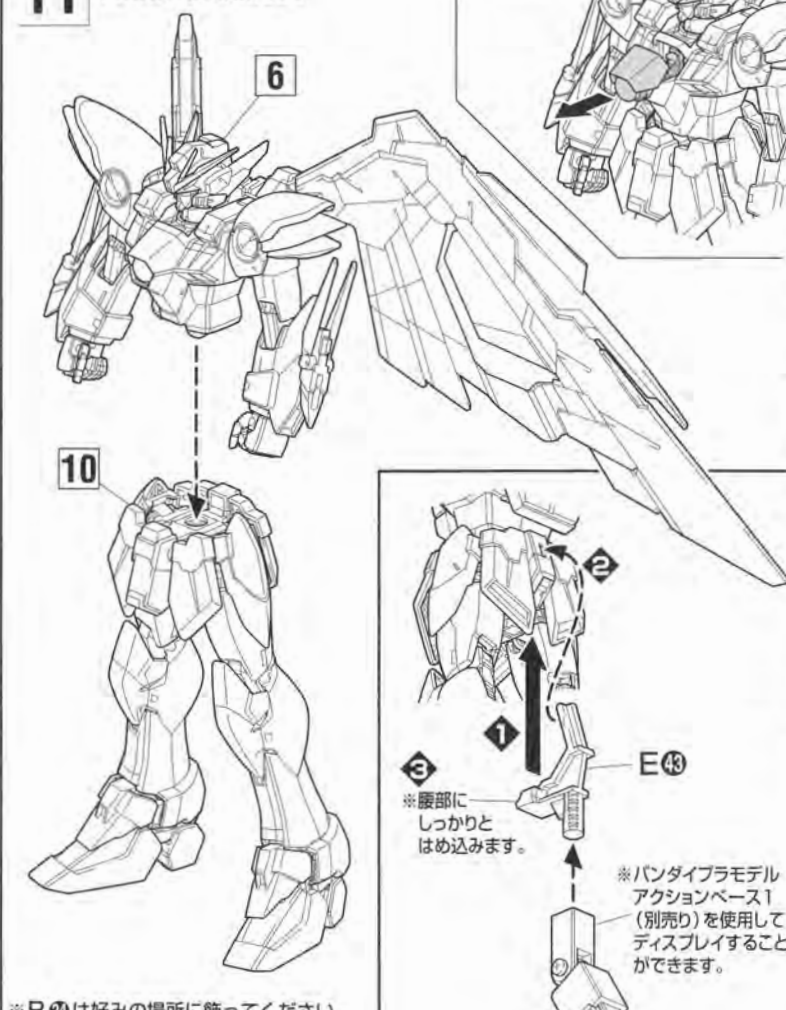
9-4



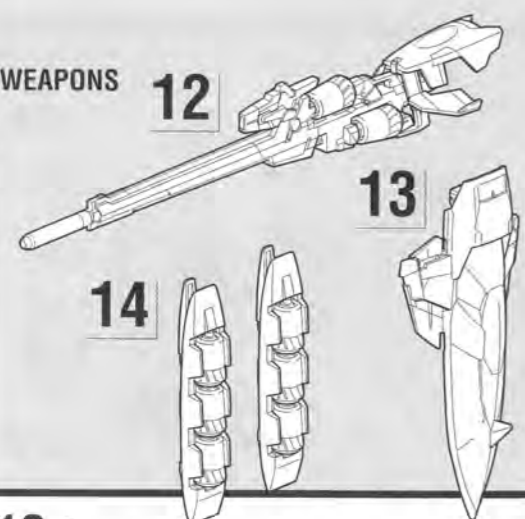
10 BOTTOM (下半身の組立)



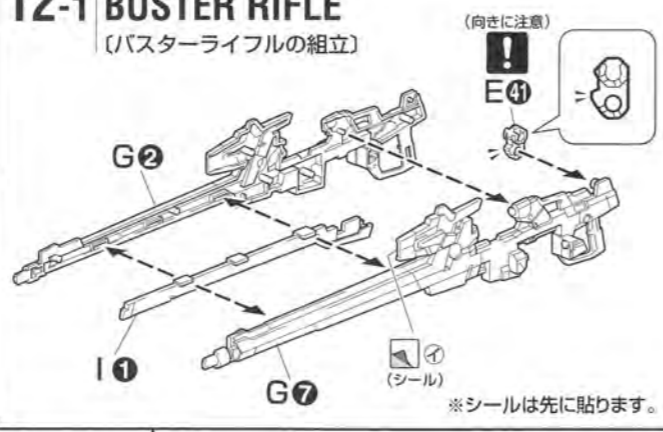
11 FINAL ASSEMBLE



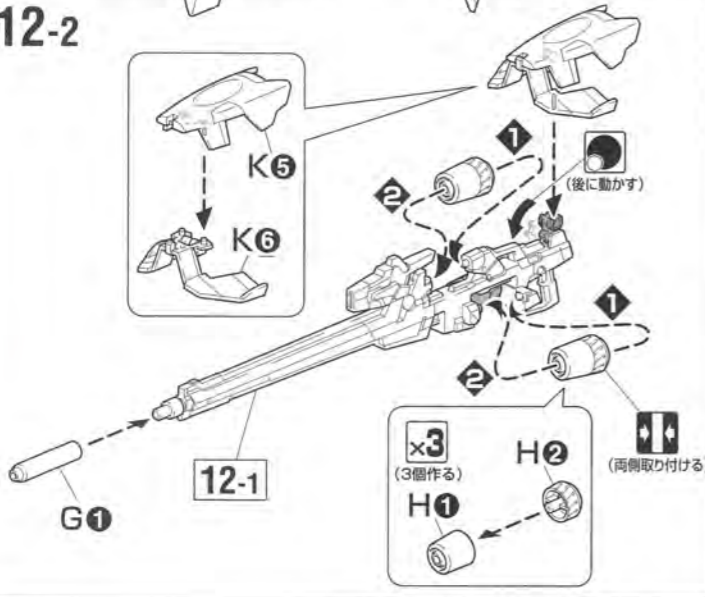
WEAPONS 12



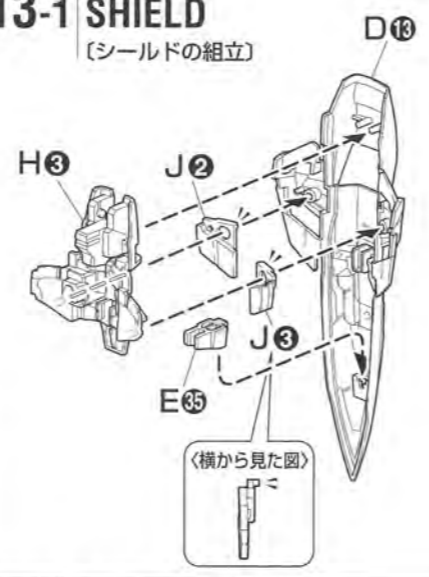
12-1 BUSTER RIFLE
 (バスターライフルの組立)



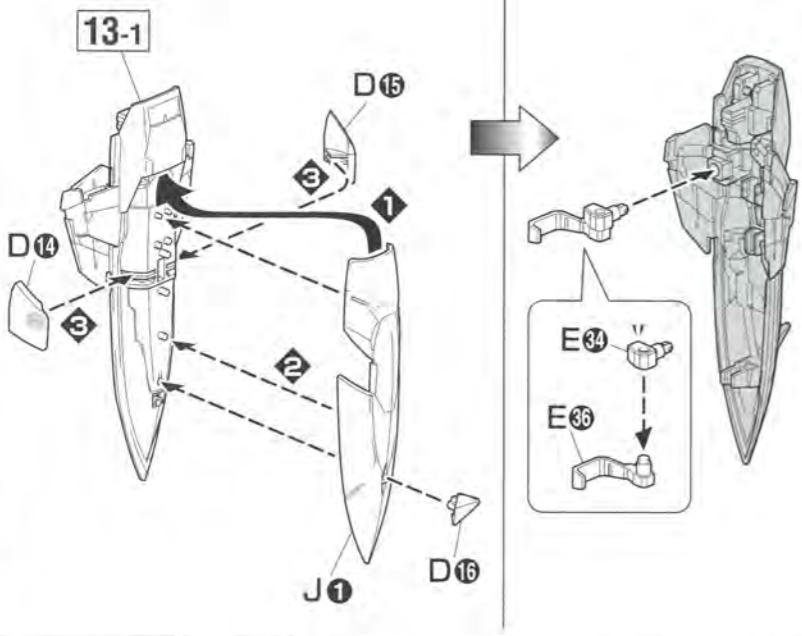
12-2



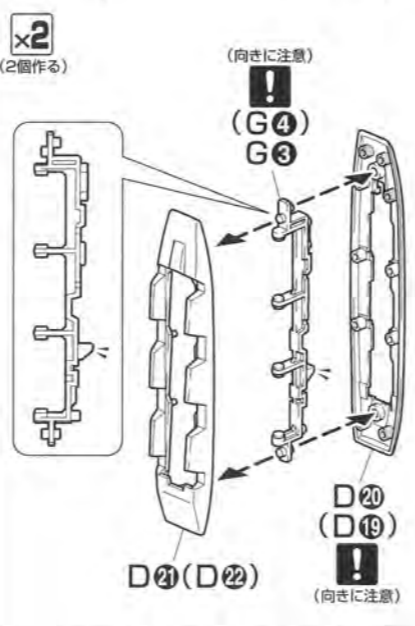
13-1 SHIELD
 (シールドの組立)



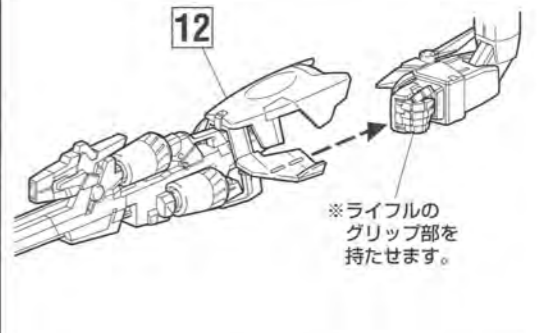
13-2



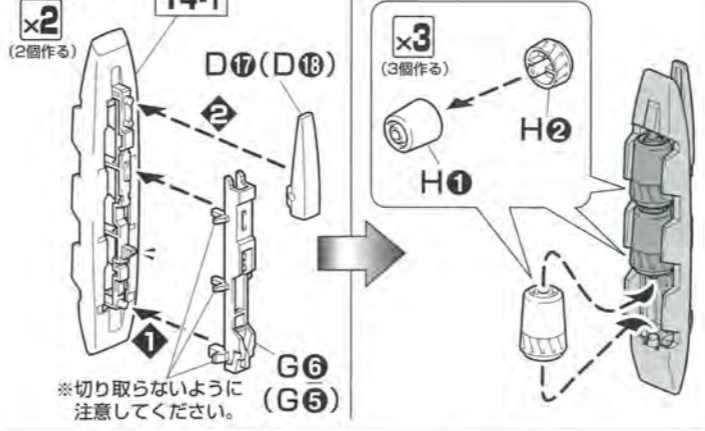
14-1 (エネルギー・カートリッジ・ボッドの組立)



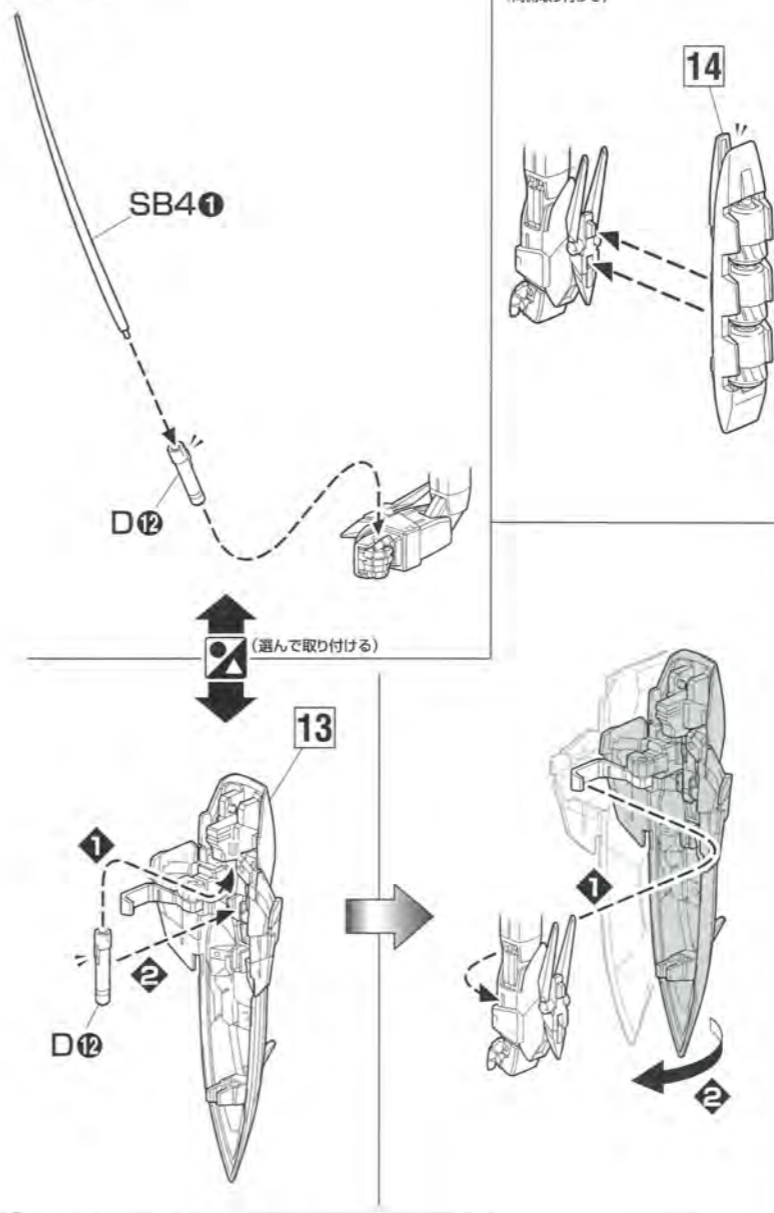
15-1 WEAPONS EQUIPMENT
 (武器の装備)



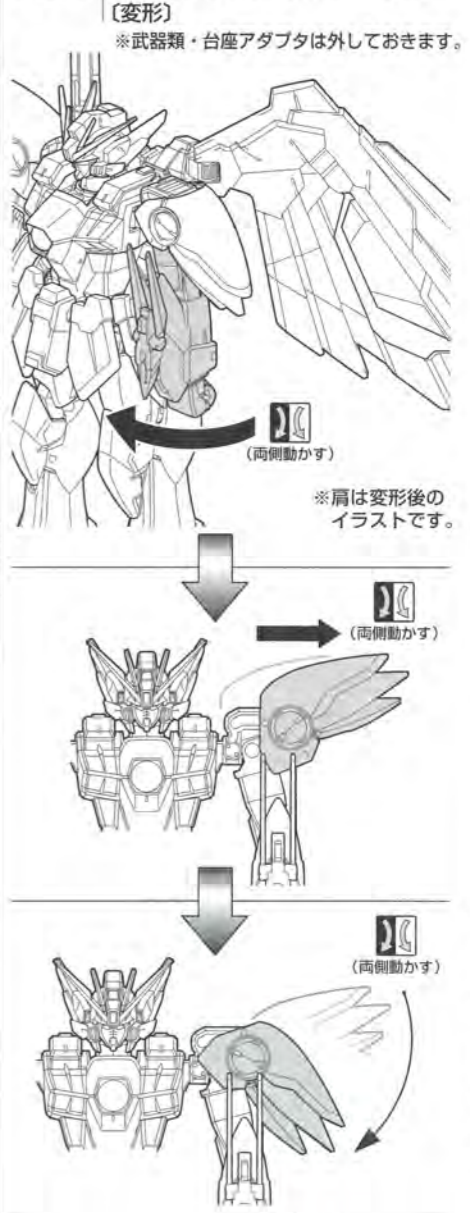
14-2



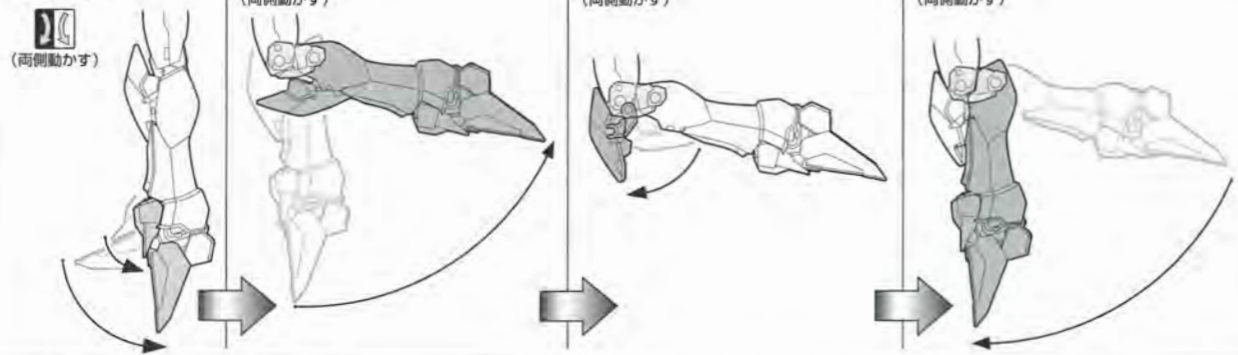
15-2



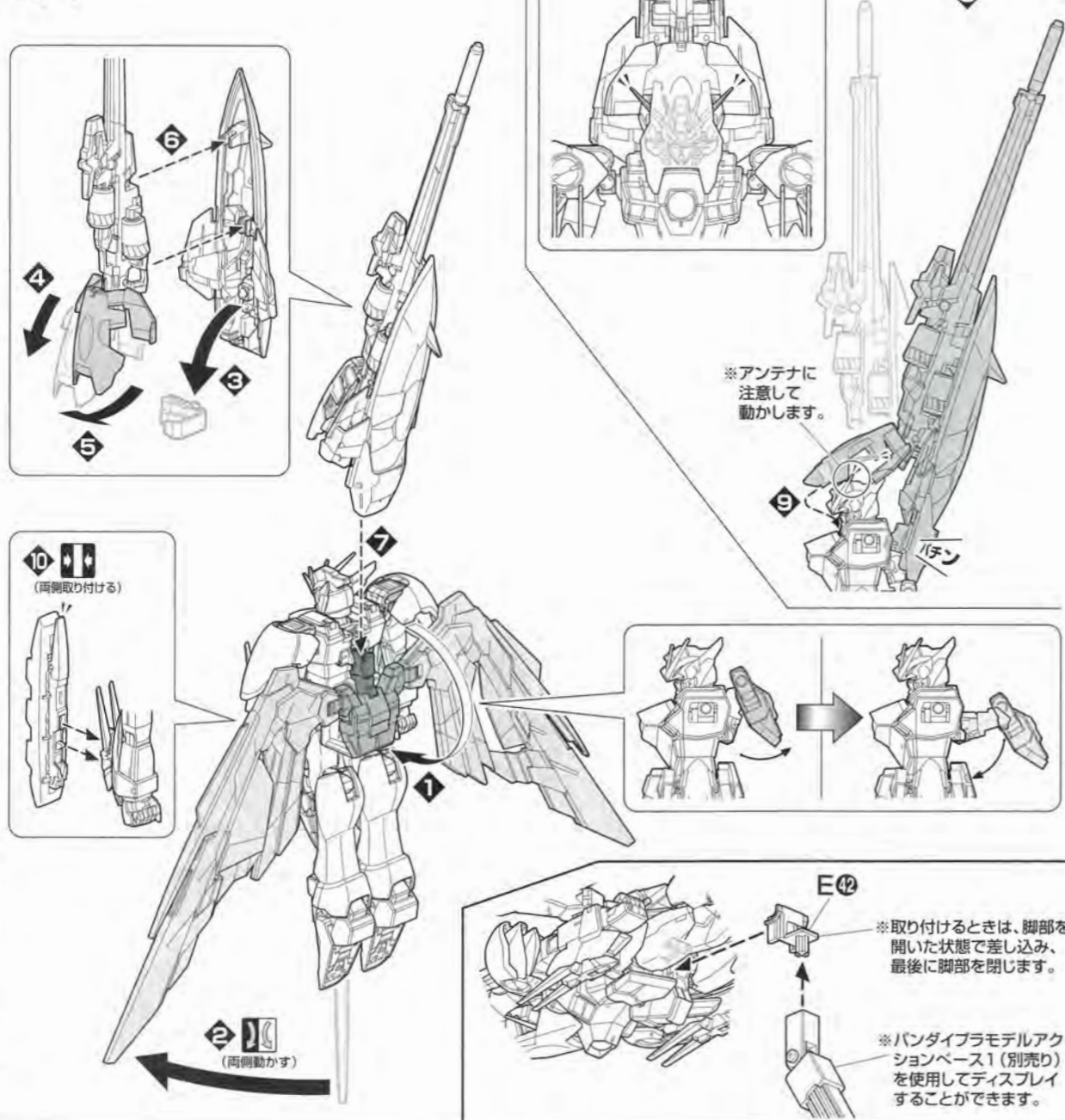
16-1 TRANSFORMATION
 (変形)
 ※武器類・台座アダプタは外しておきます。



16-2



16-3



Seal

〔シール〕 下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

マーキングシールは「数字」、ガンダムデカールは「英字」で表記してあります。

〔例〕 ①・・・マーキングシール A・・・ガンダムデカール

【ガンダムデカールの貼りかた】 ※P3のガンダムデカールの貼り方を参考に、おそろしく貼り付けてください。

1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすり取ります。

このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのもので、貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。

